

ライオン学校伝書鳩通信

～ライオン学校のみんなに会いに行って来ました～

遊びと成長

今回の支援は前回や6月の支援と違い以前からこの日に来ることを予告してありました。予告してあった5月の支援の時は、私たちがサポートセンターに到着する前にすでにサポートセンターに来て待っている子がいたので、今回も私たちより早く来る子がいるのではと思いながら出発しました。ところが、私たちの乗った高速バスがブレーキの故障でサポートセンターに着くのが予定の時間より遅くなってしまい、数人の子どもから「今日は本当にあるのか？」という心配の電話があり、急いでサポートセンターに向かいます。しかし、私たちがサポートセンターに着いたときそこには子どもたちは一人もいませんでした。心配になり子どもの電話をしてきた子の家に行ってみると二人でキャッチボールをしている子どもの姿がありました。このごろの子ども達の話の聞いていて、ライオン学校の子同士で遊んでいることが多い事に、1年前は子どもだけで遊べなかったことを考えるととても驚きます。



その後続々と子ども達が集まってきます。両親が仕事で送ってもらうことができなかったので一人で30分歩いて集まった子もいました。みんなが集まってからはサッカー、ドッジボール、鬼ごっこなどで遊びました。1年前はどうすれば集団遊びができるかと考えていましたが、今では大人がいなくても自然と集団遊びができるようになっていきます。このように遊びの中からも子ども達の成長を感じることができます。

伊豆の勉強とゴールド金賞

1日目の午後に伊豆合宿に向けて伊豆についての簡単な伊豆の授業を行いました。多くの子ども達は伊豆が静岡県にあるという事は知っていました。さらに、サポートセンターでタブレット端末を借りて伊豆や泊まるペンションについて調べていた子もいました。授業の際伊豆に行ってやりたいことを聞いてみると、「すいか割りをしたい」、「花火をしたい」、「洞窟探検をしたい」などの要望が出てきました。振り返りの時伊豆で楽しみな事を聞くと、それぞれ次から次へと出てきます。子ども達はとても楽しみにしている様で、今回の支援中に「早く8月3日にならないかな」ということを何度も聞きました。



しかし、一方で伊豆に行けなくなってしまった子もいました。支援一日目の7月21日に吹奏楽コンクール宮城県地区予選が行われました。そこにライオン学校の子も二人参加していました。夕方になり演奏

を終えた二人がサポートセンターに来てその内の一人がみんなの前に出て「今日吹奏楽コンクール宮城県地区予選があり、そこでゴールド金賞という一番の賞をとる事ができました。しかし、県大会が伊豆合宿と重なってしまうため伊豆には行けなくなってしまいました。」と少し誇らしくでもちょっとさびしそうに発表しました。伊豆に行けなくなってしまってとても残念ですが、県大会もゴールド金賞を目指してがんばってほしいと思います。

ある女の子の課題・・・週間の大きな挑戦(7月22日～29日)

昨年からずっと気になっている家族があります。そして通信にも良く出てくるその家庭の女の子の課題と向きあうべく、その子と1週間、神奈川県で生活することを計画しました。その1週間の目的は、落ち着いた環境で課題の原因や対策を一緒に考え、その子が少しでも過ごしやすくなるための練習を行うことです。1週間も家を離れたことがなかったのですが、少しも不安になる様子もなく、日にちが経つごとに表情が穏やかになっていきました。周りにその子のことを考える人がいる、きれいな空間がこんなにも子供を変えるんだ・・・子供を育てたことのない大学生の私はとても驚きました。

1週間が順調だったわけではありません。その子が失敗することがあると無表情になり、あるタイミング(話題が変わるときなど)で一気にテンションが変わったり、面倒がって嘘をついたり、と状況に応じて感情をコントロールしている、いやそうでなければ生きてこれなかった一面も多く見られました。しかし、この1週間で学んだことを彼女は理解し、出来るようになりました。

8日目、彼女を万石浦まで送り、お父さんに1週間の報告・これからの向きあい方をお話ししました。そしてその子が暮らすスペースの大掃除、お父さんも協力してくれました。きれい片づけたスペースでこれからのやることチェックシートをつくり、その子は「出来る！」と力強く言いました。それから4日後、そのスペースはきれいに保たれず、散らかっており、チェックシートもどこにいったか分からない状態になっていたのですが、その子自身は、成長したままでした。おかれている厳しい環境でやれること、やれないことはあると思いますが、私たちはこの子とずっと向きあっていく、こちらの本当の決意も固まりました。課題との向きあい方も模索しながらですが、お父さんとその子と一緒に考えていきたいと思っています。

寄付を頂いた方(6月1日～8月3日)敬称略

松永雅文、柿本隆夫、清水睦美

支援メンバー 今井美里、大林沙紀、古浦新司、甘利悠基(東京理科大学学生) 荻谷夏子

!!! 寄付のお願い !!! 継続的な支援のために、お願い致します。寄付を頂きました際には、お手数ですが右下記連絡先までご一報お願いします。

ゆうちょ銀行

店名:〇五八店(ゼロゴハチ店) 店番:058

番号:普通 3385189

ライオン学校(ライオンガッコウ)

※ゆうちょ銀行からの振込の場合

記号:10510 番号:33851891

グループ名:ライオン学校

連絡先:〒270-0101 千葉県流山市東深井 33-4

Ridai 古谷メゾン 201 号室

TEL: 080-6554-8762(代表:今井)

Email: info.lionschool@gmail.com